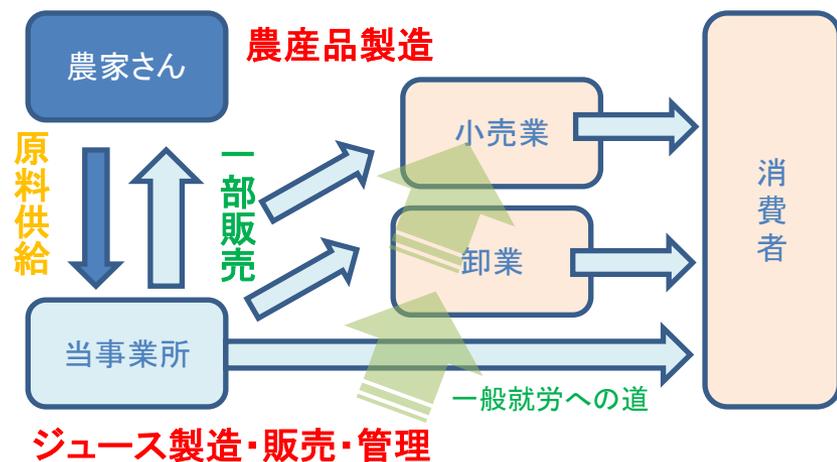


【農家・企業と連携したジュースの製造販売の製造販売】

Point

- 個性ある就労継続B・就労移行事業
- 6次産業化の促進
- 地域活性化



事業実施のきっかけ、経緯

- 地場産業である自動車・バイク・楽器の下支えを福祉事業所は長年担ってきたが、産業構造の変化により、地場産業への依存脱却を行う必要が生じた。
- 野菜や果物の生産が盛んであるにもかかわらず、B級・C級品の付加価値を上げるための加工工場（飲料）がなく、農家さんは遠方の工場へ委託していた。また、工場がないため、B級・C級を捨ててしまうケースが散見した。

事業概要

- コンセプト：素材感・新鮮さ・懐かしさ・安全・衛生
- 「急速温製法」を可能とした果実飲料工場を設備し、品質の高いジュースを製造し販売する。
- ジュースの製造設備等を工夫し、オペレーションのほとんどの工程に利用者が関わることができるようにし、働く機会を拡充する。
- 物流過程や管理過程に利用者が関わることができるようにし、流通業や小売業への移行を行う。

成果

- 利用者の働く機会や役割の拡大（職員・利用者という区分での配置ではなく、適材適所の配置）。
- 野菜や果物のB級・C級品を適正価格で購入できることから農家さんの収入の安定。
- ジュースの品質に徹底的にこだわり、ニッチなニーズへの商材に仕上げたことから、卸業者・小売店・ブローカー等からのオファーが増大。
- 商品戦略（ターゲット・品質・価格他）を明確にすることで、農家・製造者（当法人）・販売者双方がwinになることができる。

今後の展望

- 工場隣地に物流兼店舗棟を建設し、利用者の働き方・移行支援の在り方を確立する。
- 販売力・マーケティング力を強化し、製造量を増大させること=6次産業化への貢献力を向上する。



農家さんとの原料供給協定



工場充填ライン



綺麗な工場も大切なこだわり



地元鉄道会社とのコラボレーション



静岡地方のみかんの起源・・・家康公が駿府城に植えたものとされている

事業所より一言

こだわりの支援、こだわりのジュースを通して、障がいのあるなしに関係なく、意欲と誇りをもって利用すること・働くことができる事業所を目指しています。
工場見学もできます。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 復泉会

〒433-8101

静岡県浜松市北区三幸町124-7

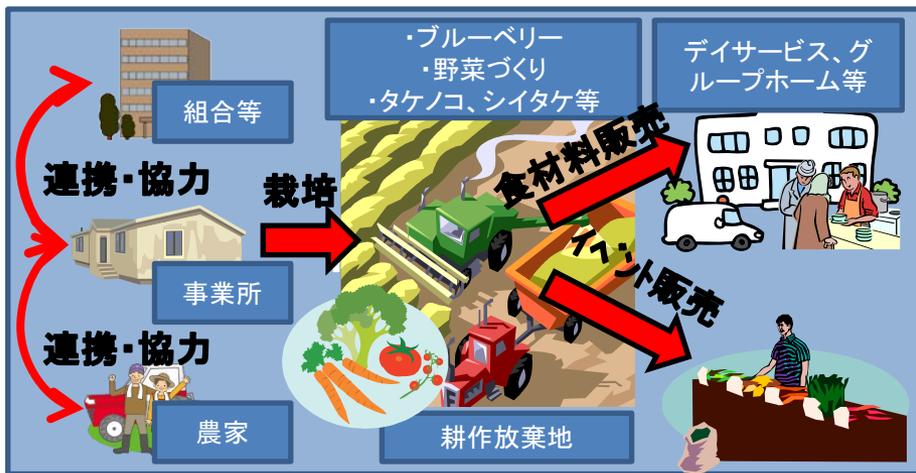
TEL 053-420-1556 FAX 053-523-7718

カテゴリ1【近隣農家との連携】

【農園作業をしながら地域の方々とのコミュニティづくり】

Point

- 農作業は、地域の耕作放棄地を活用
- ほのくにの特色をイメージできる商品づくり
- 近隣農家の協力により、楽しんでできる魅力的な農園造り
- 地域の方々にはほのくにへの理解を深めてもらうきっかけづくり



事業実施のきっかけ、経緯

- 常日頃、ほのくにの特色となる商品作りをしたいが何をしようかと考えていました。そこで、この地域でブルーベリーを栽培する農家に栽培方法等を相談することにしたところ、この地域の気候や土質が適していることまた無農薬でも栽培できることを教えられた。既に1反を無農薬、無化学肥料の野菜づくりをしていた畑の隣が耕作放棄地であったため、そこを整備すれば、ほのくに農園としてのピーアール商品ができるのではと思いました。
- そこで、地域の耕作放棄地を活用し農作業をするため、H23年7月、豊川市による農業委員会のヒアリングを受け、耕作放棄地再生利用補助金が交付されことになり、その年の秋、荒地の伐根、深耕等、果樹栽培のために、20年以上放置された森のようになった荒地が半年間でブルーベリー畑に生まれ変わることができました。

事業概要

- 近隣の耕作放棄地2反畑を整備し借り上げ、1反を無農薬、無化学肥料の野菜づくり、もう1反にブルーベリーを植栽、そして事業所の敷地内にある1反の竹林を整備し、タケノコ、原木シイタケ栽培をしています。
- 近隣の農家の方々からは、苗を分けてもらったり、肥料や米ぬかを頂いたりする協力が得られています。収穫した作物は、近隣の福祉サービス（デイサービス、グループホーム）で食材料として活用してもらったり、事業所のイベントにて販売してもらうこともあります。
- 近隣のブルーベリー農家で作る東三河農産加工販売協同組合が、六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定を受け、加工販売に着手しており、当事業所も一昨年から、この組合に所属するブルーベリーガーデン豊川の山本さんにご教授を頂き、100本の苗木を植えました。

成果

- 3名の知的障害者が農園作業に関わっています。作業の説明に時間はかかりますが、一つの作業に集中したり練りの強さが必要な仕事が得意な方もいて、屋外での汗を流して農産物の収穫は喜びと達成感を味わうことが自信につながり、精神的に与える影響もあるのではないかと思います。
- 今後の作業収益向上も期待されます。地域の周辺農家からも迷惑な耕作放棄地がきれいに整備されたことについて、喜びの声があがっています。目標としていた自家農園で収穫された野菜や果実を加工販売する計画も進んでいます。四季折々の無農薬野菜をはじめ、春はタケノコ、夏、ブルーベリー、秋はシイタケ、そして冬干し芋と季節に応じた商品を扱っております。

今後の展望

- 将来的には地域の農産加工の一端を担えるよう、日々連携を図りながら活動しています。
- ほのくに独自の販売方法の確立をしていきたい。



事業所より一言

大きなアーチと優しい色使いの外観が、あたたかく迎えてくれる「ほのくに」は、障害者の方々が我が家のように通所できる、アットホームな多機能型事業所です。

社会・経済参加のためのクリーニング作業場をはじめ、バリアフリーに配慮した多目的室など、障害者の方々の立場に立った、数々の施設であり、地域福祉の大きな役割を担う事業所として、豊川市一宮町に生まれました。

皆様とともに、大切に育んでいきたいと願っております。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人阿吽会 ほのくに

〒441-1231

愛知県豊川市一宮町上新切33番260

TEL:0533-92-1515 FAX:0533-92-1520

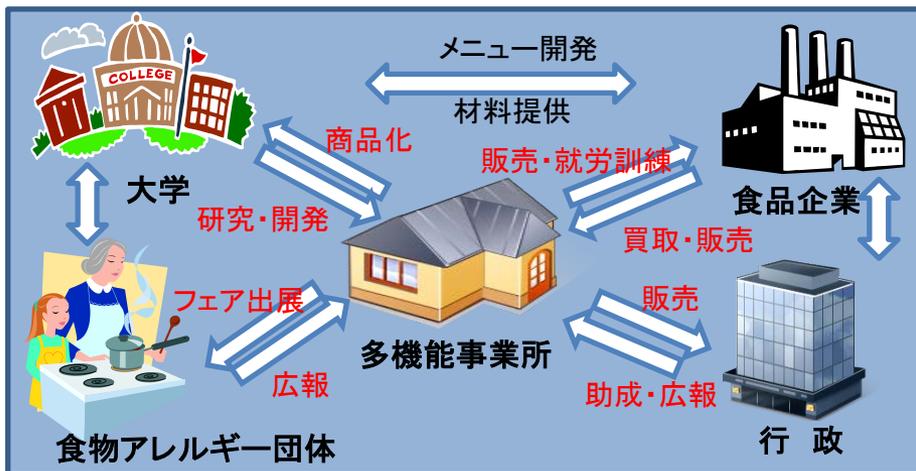


【カテゴリ4】企業や企業団体と協力して商品開発

【産官学と福祉の連携による作業の創造と就業トレーニングの機会の創出】

Point

- 大学の研究を商品化
- 企業の協力で工場作りと販路開拓
- 食品会社での就業トレーニング



事業実施のきっかけ、経緯

- 地域の基幹産業である自動車関連の下請け作業が中心だったが、トヨタショック、東日本大震災、タイの大洪水などのたびに作業が無くなり、工賃の維持が難しかった。
- 利用者さんの工賃維持のためリスク分散を考え、自動車とは全く分野の違う食品分野への進出を考えたが、事業所にまったくノウハウが無かった。
- 大学に研究開発を依頼し、地元企業に工場の建設から製造販売のノウハウを教わり、行政には資金的な援助と購入を依頼し、産官学での支援体制を構築した。

事業概要

- 大学-学内の研究を障がい者支援のために活用するために、食物アレルギー対応商品のレシピの研究開発をする。
- 企業-商品開発の指導・食品工場の建設指導・製造・販売の指導を担当する。施設内の向上で衛生管理・製造業務ができてきた利用者については、企業内で就労トレーニングを受け入れる。
- 行政-機械設備の購入に関して助成する。市内の保育園等で授産製品を購入する。
- 事業所-安心安全な商品を製造販売するとともに、施設内工場で訓練した人を企業内での就労トレーニングに結び付け、一般就労へつなげる。

成果

- 焼き菓子製造販売部門の立ち上げにより、授産収入が年間700万円程度だったものを、4年で年間2,300万円程度まで押し上げることができた。
- お菓子部門立ち上げまで、一月の平均工賃が1万円程度だったものが、4年間で1万5千円超まで引き上げることができた。
- 述べ26人が就労トレーニングし、内1名が就職する。

今後の展望

- 協力大学から、新たな商品のレシピ開発を申し出ていただいております、商品化を勧める。
- 協力企業から、商品のデザイン・パッケージ・販路等についての提案があり、商品の付加価値を上げる。
- 行政より、子どもの食育活動の拠点的活動を求められ、食物アレルギーに関する講座を開設する。

施設内焼き菓子工場



施設内チョコレート工場



企業内での実習



事業所より一言

「できないことはできる人と組んで仕事を創り出す！」をコンセプトに産官学と福祉が融合して、短期間に全国展開する事業を創り出すことができました。協力企業には、今後特例子会社を作る計画があり、事業所とタイアップして障がい者の就労の機会をより拡大していけたらと考えています。厳しい食品業界ですが、利用者さん・スタッフ一同誠実に頑張っています。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 昭徳会
授産所高浜安立

〒444-131
愛知県高浜市向山町6-1-1

TEL0566-53-8551 FAX0566-53-8553

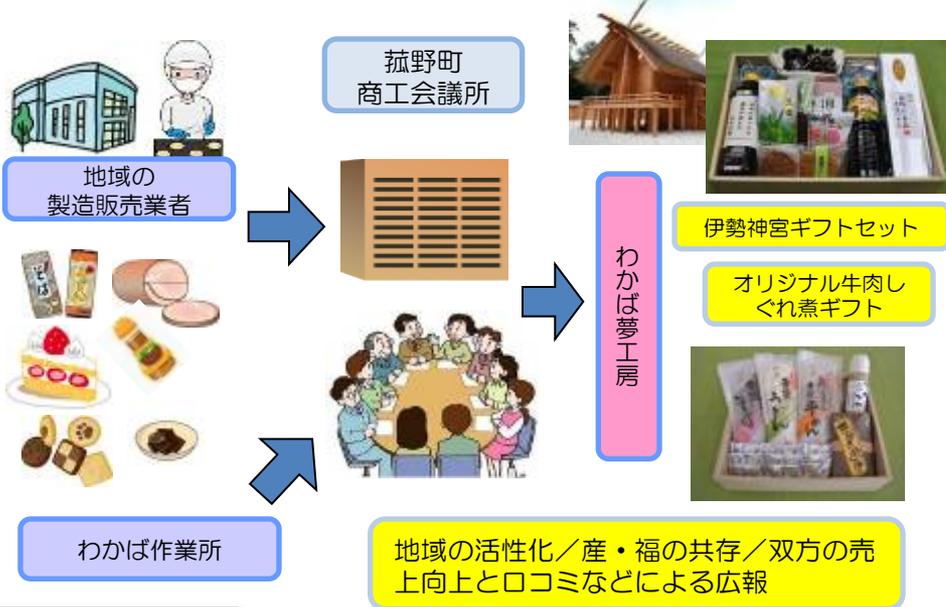
(株)おとうふ工房いしかわ 建物風景



【カテゴリ4】企業との連携

商工会加盟事業所との連携により、地域事業所が製造する商品を施設オリジナルギフト商品として販売し地域連携を図る。

- Point**
- 商工会加盟事業所の協力を得て、オリジナルギフトセットを企画・販売
 - 伊勢神宮奉納商品の開発



事業実施の背景

● 障がい者作業所を運営する社会福祉協議会へ、町長から「地域の地場産品を活用して、障がい者作業所でオリジナル商品の企画・販売などができないか？」と働き掛けがあり、商工会の協力を得て、商工会加盟食品等製造販売業者の中の有志や他関係者等が参加していただき、企画を立ち上げた。約15事業者が商品を持ち寄り、「わかば夢工房」ブランドとして「伊勢神宮奉納セット」をはじめ、作業所のオリジナルギフトセットを開発・販売。

事業内容

わかば夢工房

- 開始当初は15事業所の協力を得、現在は11事業所がと連携。わかば作業所の利用者で箱作りからはじめて、それぞれの事業所自慢の商品の箱詰め作業を行っている。
- 地域の陶芸家の指導と協力を得て、わかば作業所オリジナル陶玉ストラップを作製し、ギフト商品に添えて販売し、作業所のオリジナル性を出している。

商品紹介

● 菰野町自慢の美味しいもの（中華・麺・お菓子など）をギフト商品化。1800～3500円程度のギフトセットで、コンセプトは「菰野町の色んなおいしいものが詰まったギフトセット～美味しいもの巡り～」です。

本事業における効果

- オリジナルギフトを企画したことによって、地域の異業種事業所の交流が深まったとともに、障がい者福祉に関する理解も深まった。
- わかば作業所利用者とともに販売の付添をする中で、利用者自身の製品への関心や販売意欲が高まった。
- オリジナルギフトの立ち上げ開始から2年間は、お中元とお歳暮の2回販売していたが、通常内職作業等の中での時間の確保が困難な事等々により、今はお歳暮のみの企画・販売となってしまったのが残念。

本事例の事業所紹介



(社福) 菰野町社会福祉協議会
 菰野町わかば作業所
 〒510-1233
 三重県三重郡菰野町菰野1227-1
 TEL 059-394-3421 FAX 059-394-3426

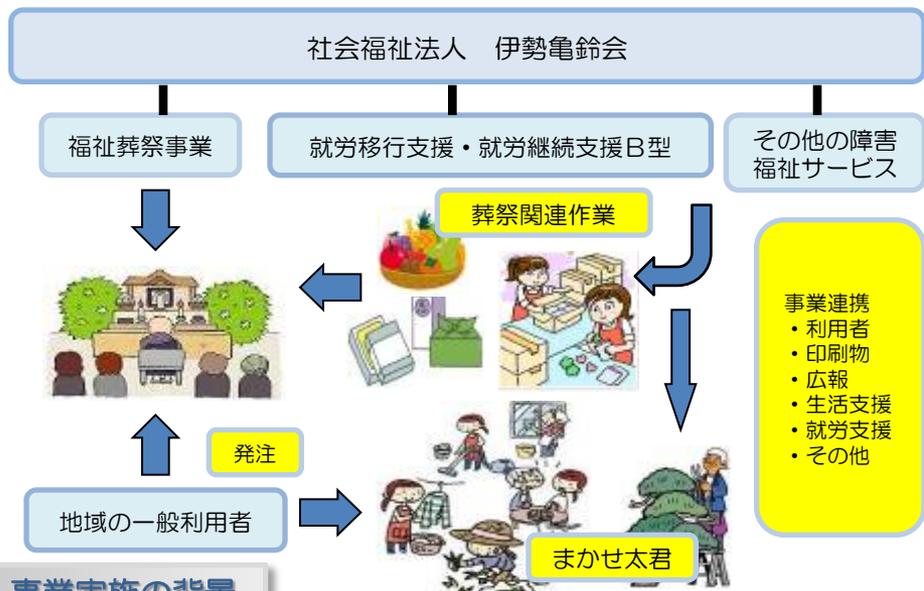
【カテゴリ8】その他

独創的な事業展開で地域との共存を図る。また、将来、これらの事業でニート等の課題を抱える方へのサービス提供の仕組みを確立する。

Point



- 葬祭業と福祉サービスを融合することで、地域との共存を図るとともに、利用者に高い工賃を支給
- 地域の様々なニーズを聞く便利屋。様々な経験により作業スキルの向上につなげる



事業実施の背景

●法人設立者の前身が葬祭業を経営。作業種が豊富にあること、季節や景気に左右されることなく、安定した仕事量、作業量が確保できることから福祉サービスの事業として実施することとした。

●葬祭契約を受けたお客様からの依頼に基づき行ってきた、遺品整理の付加サービスを発展させた「まかせた君」事業。

事業内容

福祉葬祭事業

●鈴鹿市内2か所、伊勢市と津市内にそれぞれ1か所の葬儀会館を設置。病院やご自宅などから会場までのご遺体の搬送から、葬祭、出棺、初七日法要までの一連の業務の中で、利用者の方々には、葬祭式典の裏方作業（会場設営・清掃、籠盛りや菓子盛りの製作、返礼品の製作と包装）を行う。

まかせた君事業（便利屋）

●葬祭事業の付加サービスとしての遺品の整理、植木の剪定、各所の清掃作業や日曜大工、その他お客様からの依頼に応じて出張し作業を行う。

●就労移行及び就労継続B型の利用者が車に乗りご依頼のある家庭などに出向き作業を行う。

本事業における効果

●年間を通じ安定した仕事量により、利用者の作業スキルの向上が期待できる。また、葬祭利用がない時に返礼品の包装を在庫品としてストックしておくことができる。

●まかせた君事業は、お客様からのニーズに合わせて様々な作業を体験することができるため、利用者の作業スキルの向上につながる。

●三重県単独事業による社会的事業所の設置に向け、今後は、若者サポートステーションとも連携し、ひきこもりやニート等の方に対する支援策としてつなげ、サービス利用して頂けるような仕組み作りを検討する予定。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 伊勢亀鈴会
きれいサポートステーション

〒510-0236
三重県鈴鹿市中江島町7-21
TEL 059-388-0864 FAX 059-388-0864

福祉会館（葬祭会館）鈴鹿市2カ所、伊勢市、津市に各1カ所を就労移行支援と就労継続支援B型で運営）



会館玄関



式場全景・会場の設営



ご親族休憩室の清掃



祭壇等の設営

返礼品の製作と包装（タオルたたみ→箱作り→包装→収納・陳列）



籠盛り・菓子盛りの製作



中日新聞
2010年2月1日

まかせ太君事業



屋根の補修依頼を受けて作業する「まかせた君事業」の利用者の方

【 移動商店街ぎょうれつ本舗 】

Point

- 地域の課題（買い物難民・障がいのある人の働く場）をぎょうれつ本舗のしくみで解決
- 福祉サービスを受ける側から、高齢者サービスを提供する側へ



事業実施のきっかけ、経緯

- 過疎・高齢化が進む地域では買い物に困っている人が多い。移動販売を通して地域の人と仲良くなり、地域の役に立つ働きができるようになり、障がいのある人たちが地域で働く機会が増えると考えた。
- 事業の現時点で採算は合わないが、過疎地流通の必要性の高まる将来においての事業成立の可能性は高いと考えている地域からの期待度も大きく、社会福祉法人の公益性という視点から考えてもやりがいのある事業であり、地域になくってはならない事業となっている。

事業概要

- 事業全体 過疎・高齢化が進む地域へ移動販売車がぎょうれつを組んで出向き、買い物の機会・コミュニティの場の提供を行う。
- 障害者の担う仕事 地域の高齢者への接客・話し相手、パン・焼菓子・惣菜等の製造、洗車など
- 地域への貢献 買い物が不便な地域の高齢者の喜びや楽しみが増えている。

成果

- 雇用・工賃向上の成果 地域に役立つことを続けていくことで、工賃向上につながるベースができつつある。
- 本人のスキル向上 挨拶やお客様対応が上達。人に必要とされることで自信につながり、働く意欲が向上し、生き生きと働くスタッフが増えている。
- 地域への貢献 「緑濃い 行列本舗 品決めて 音楽流す 過疎の里庭」90歳の女性から届いた喜びの手紙

今後の展望

- 地域に役立つ「ぎょうれつ本舗」を継続していくために、物販だけでなく便利と安心をお届けできるサービスを組み合わせしていく。
- 行きは商品を乗せ、帰りは高齢者が作った農産物を仕入れてくる。食材として活用し再びお客様へお届けし、循環させるしくみを作っていく。



事業所より一言

高齢化率28.8%、過疎化が進む高島市。スタッフは地域に役立つ「ぎょうれつ本舗」目指して、挨拶の練習や「商」の学習もしています。人から必要とされることが自信につながり働く喜びを感じています。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 虹の会
社会就労センターアイリス

〒 520-1521
滋賀県高島市新旭町北畑45

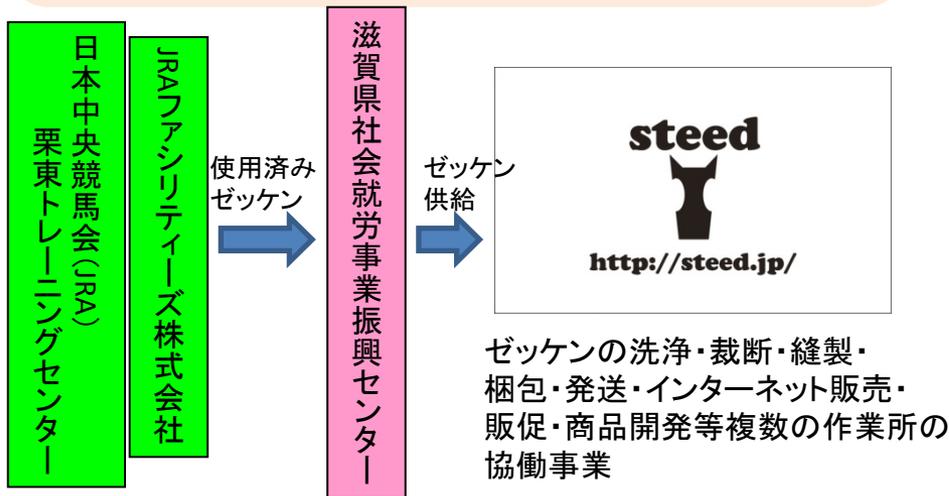
TEL (0740) 25-5315 FAX (0740) 25-5315

【カテゴリ4】企業との連携

競走馬使用済みゼッケンを活用し
複数の作業所でバッグを製造・販売“steed”

Point

- 複数の作業所によるブランディング
- 「廃棄される競走馬のゼッケン」
他では手に入らない商材の活用
- CSR、廃棄物削減、地域ブランド



事業実施のきっかけ、経緯

● 日本中央競馬会 (JRA) 栗東トレーニング・センターのメンテナンスをしている企業に知的障害のある人が採用されたことがきっかけに滋賀県社会就労事業振興センター (共同受注窓口機能) が印刷やノベルティ商品を受注。そのなかで競走馬の調教で使用するゼッケンが毎年数千枚廃棄されることを知り、使用済みゼッケンをバッグに製造・販売することに。

● 複数の作業所が洗浄や縫製、印刷・デザイン等強みを活かして連携。

事業概要

- JRA栗東トレーニングセンターから廃棄される使用済み調教用ゼッケンを再利用して、滋賀県内の複数の作業所が、洗う、ほどく、縫う等分担してオリジナルバックを製作しています。JRA栗東トレーニングセンターで使用される調教用ゼッケンは年間5000枚。その中から再生可能なゼッケンを使用。ゼッケンは馬齢により色分けされており、番号は各馬に割り当てられている番号と世界に一つだけのオリジナルバッグ。インターネットでの販売がメイン。北海道等の観光地でも販売。

成果

バッグ製造だけでは、縫製をしている作業所しか関われないところを、洗浄やほどく作業、デザイン等を分担することで多くの作業所による協働が可能。2012年度の売上は約450万円と未だ小さいものの、商品アイテムの増強や宣伝広告等販売促進の強化により、さらなる売上アップが可能と考える。今までは廃棄されていたものを、アイデア、デザインの工夫でバッグにすることにより、リユースを実践し、環境負荷低減にもなっている。

使用済み調教用ゼッケンということで、市場には他にない商材を使用。競馬ファンのみならず、多くのお客様が商品をお求めくださっている。

今後の展望

- 企業や他県の作業所とのコラボ企画。
- 工賃向上から雇用の創造へ。



<プロジェクト会議>



<製造風景>



事業所より一言

「steed」事務局を担っている障害福祉サービス事業所「びわこみみの里」です。以前、一般の縫製工場で働いていた聴覚障害の方を先頭にこの事業を進めています。今年は午年ということもあってか新しい層のお客さんが増え、販売を伸ばしています。よろしく！

本事例の事業所紹介



steed
<代表>
社会福祉法人聴覚障害者福祉協会
びわこみみの里内
〒524-0102
滋賀県守山市水保町165-1
TEL 077-514-9078 FAX 077-585-7144

【湖のくに生チーズケーキ

Point

～滋賀の酒蔵きき酒粕～

- 地域の名酒六蔵とのコラボレーション
- 商品の持つブランドの高さ
- 商品を各専門家チームでブラッシュアップし作業所だけではできなかった事を実現化した。



事業実施のきっかけ、経緯

- 地産地消をテーマにあゆみ作業所（東近江市）が独自レシピで発案した商品をより売れるよう、より高い工賃を目指せる製品にしたいとの相談が特定非営利活動法人 滋賀県社会就労事業振興センターにあり、専門家との協働で開発した。
- 発売後は地域の方・団体等の力をかり、多くの展示会や品評会に出展する事によりメディアからも注目されるようになり、高い評価を受け収益をあげる事となる。

事業概要

- 事業全体
商品の製造から販売。
- 障害者の担う仕事
製造全般
- 地域への貢献
風土をもって生まれた酒粕を利用し、県民が誇れる滋賀県ならではの贈り物としての定着化。

成果

- 雇用・工賃向上の成果
 - ・ この事業に係る利用者の工賃30%増
 - ・ 就労への意欲
- 本人のスキル向上
メディアに取り上げられたり、商品が売れている実感で、お給料を頂き自立がしたいとの夢を語っている。
- 地域への貢献
県民が誇れる滋賀県ならではの贈り物として、定着しつつある。

今後の展望

- 湖のくに生チーズケーキを軸とし、高工賃を支給できる事業とし、その先に雇用を作る事を目的とする。
- 世界にも通用するお土産で日本酒の発酵文化を国内外に広め福祉を元気に！海外進出への夢に向かってます。



事業所より一言

福祉と蔵元とデザイナーとのコラボ商品です
滋賀の自然と文化を守り、その魅力を大勢の人に伝えていきたいと思いま
す。この商品を通して、人と人との絆を束ね、障害のある人を雇用できる場
に発展させていきたい

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 あゆみ福祉会

〒 527-0087

滋賀県東近江市平田町717-1



TEL 0748-23-6483

FAX 0748-22-7188



【三井寺環境整備事業】

Point

- 多様な方々の就労準備のための事業
- 貴重な観光資源の保全
- 観光資源の活用を通じた地域の活性化



事業実施のきっかけ、経緯

●各利用者の方々の「はたらき」を直接たくさんの方々に見て頂けるようにしたい、という考えがあり（雇用を考えて頂けるきっかけになる）、お客様のところに向く事業を作る必要があると思っていた。

●たまたま三井寺様が、広大な境内の整備についてのお悩みがあるとのことだったので、協議のうえ、試行期間を経て、市内を中心とした5つの就労継続支援施設B型でお受けさせて頂くこととなった。（2011年10月～）その後、ご本人のステップアップ、観光資源としての三井寺の活性化を狙い、春期・秋期に観光サービスを行う。

事業概要

- 事業全体
三井寺敷地内の環境整備及び観光振興（就労継続支援施設B型5カ所で分担）
- 障害者の担う仕事
整備全般【抜根除草から機械（フロア、刈払機）整備まで】 及び、参拝のお客様への接客サービス
- 地域への貢献
貴重な観光資源である三井寺の保全と活性化

成果

- 雇用・工賃向上の成果
（本事業だけの成果とは限らないが）参加事業所である、就労継続支援施設B型2カ所より2名の就職者
全体工賃向上額＝約300万円
※今春繁忙期のアルバイトとして、5～6名の求人も頂いている。
- 本人のスキル向上
大きく個人差はあるが、職業準備性のピラミッドにおける【基本的労働習慣】【対人技能】の向上が見られる。多数の参拝客、僧侶・職員の皆様からの「作業に対する感謝や評価」のお声をその場で頂けるという要素が大きい。
- 地域への貢献
歩行が不便なお年寄り向けの観光サービスを展開し、年間約500名の観光客誘致。その他別紙参照

今後の展望

- 環境整備の範囲拡大（可能であれば重機の使用による、森林整備まで）による各参加者の職業能力向上
観光サービスの通年化による各参加者の職業能力向上
- 上記に伴う、各参加者ステップアップの「見える化」



事業所より一言

お客様と直接触れ合いながら仕事をさせて頂く事で、
一人一人の仕事に対する意識が高まり、
やりがいに繋がっています。
また、継続して訓練する事により技術がアップし、効率性を意識したり、
もっと質のよい仕事ができるように努力していきたいと思えます。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 美輪湖の家大津
瑞穂

〒520-0844
滋賀県大津市中庄2-2-11

(事業所写真)

TEL 077-525-9520 FAX 077-525-3290